

環境管理活動の取組み

富士電機(株)神戸工場



1



廃棄物管理

- 全富士目標

ゼロエミッション

目標値：最終処分量率 0.5%を維持する

に従い活動する。

2

廃棄物削減活動(神戸)



3

廃棄物削減の施策



◇再資源化の推進

- ・板金端材の回収推進
- ・機密文書、小紙片、給茶機カップの再資源化推進
- ・プリント基板・バッテリーの再資源化
- ・蛍光灯の再資源化

◇排出量の削減

- ・分別の徹底(指定ゴミ袋の利用)
- ・職場内個人ゴミ箱撤去、分別ゴミ箱の設置(2S3定活動)
- ・ゴミ箱設置場所等の再配置
- ・梱包材の削減(通い箱、パレットリユース等)
- ・電線ドラムのメーカー引取り
- ・木屑の削減(遮断器木枠梱包品のダンボール化)
- ・木枠梱包品(板金用材料)の持ち帰り

4



省エネルギー活動

2018年度 結果



神戸工場、勝英：目標省エネ改善量 達成

	神戸工場	勝英産業
判定(結果)	○	○
省エネ量(計画)	▲60.0Mwh	▲7.65 Mwh
省エネ量(実績)	▲82.1Mwh	▲29.1 Mwh
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自販機更新(8台) ・ G棟現場照明LED化 ・ G棟塗装場間仕切り ・ 回生装置の活用 ・ A棟事務所照明LED化 ・ B棟現場水銀灯LED化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計・製造事務所 本社D棟77灯LED化 ・ 空調管理徹底 ・ 製造試験設備の電源管理 試験設備未使用時の電源 OFF : PCS試験

省エネルギー活動(神戸)

富士電機
Innovating Energy Technology



生産高原単位については昨年より▲7%減となった。



7

省エネルギーの施策

富士電機
Innovating Energy Technology



◇工場施設の省エネ改善

- ・照明 ……A棟事務所照明LED化、B棟現場照明LED化
……(勝英)本社設計部門、D棟照明LED化
- ・設備更新 ……トランス更新により省エネ(5台)
- ・建屋等 ……F棟事務所のA棟集約化(製造部)
- ・その他 ……自販機更新による省エネ(8台)

◇試験電力の削減

- ・電力回生装置の適用及び回生試験の推進
- ・立会い時の負荷軽減交渉

◇電源管理の推進(節電)

- ・空調集中制御による節電
- ・省エネパトロールの実施
(照明間引き、パソコン省エネモードの実施、照明紐スイッチでの管理など)

8



製品アセスメント

1. 製品含有化学物質調査の推進

機種	目標	実績
UPS7300WX-T3	AIS調査:100%	100%

9



製品アセスメント

2. 地球環境保護に貢献する製品の提供

機種	目標	実績
UPS7300WX-T3	体積▲7% 重量▲13%	達成 体積▲7% 重量▲13%
PVI1000MJ	体積▲10%	達成 体積▲10%
C-GIS24kV/36kV	体積▲10% 重量▲50%	開発継続、完了は2019年度予定

10

製品アセスメント施策

 富士電機
Innovating Energy Technology



- 製品含有化学物質調査の推進
 - ・JGPSSI回答調査
 - ・RoHS不含調査
- 地球環境保護に貢献する製品の提供
 - ・変換効率の向上
 - ・部品点数削減、装置寸法の小型化
 - ・エコ製品認定(本社)
以下2機種認定済
 - ①PVI1000MJ
 - ②UPS7300WX-T3U

 富士電機

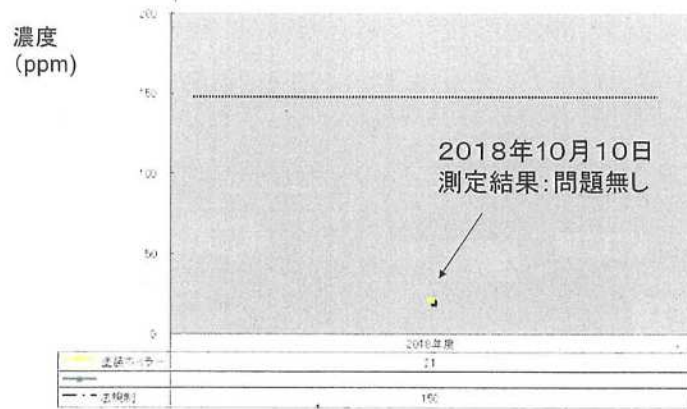
法の遵守状況

富士電機(株) 神戸工場





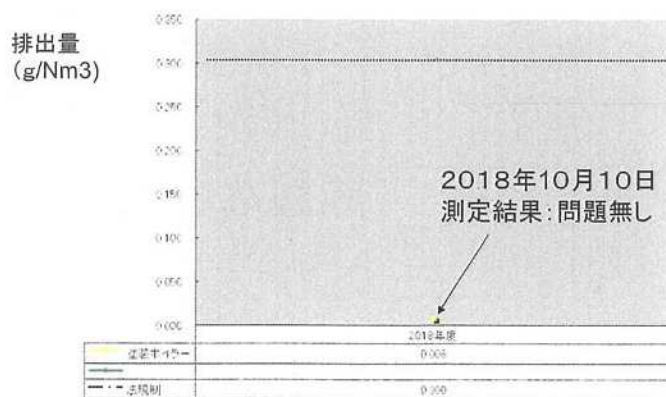
大気 (Nox濃度)



13



大気 (ばいじん濃度)



14



排水口 測定ポイント



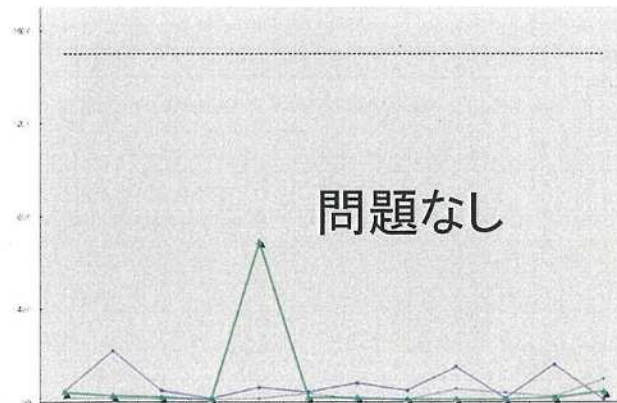
15

水質汚濁(ノルマルヘキサン油分量) 富士電機



問題なし

排出量
(mg/L)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全排水口合計	43	22	21	76	62	22	26	49	39	16	36	11
排水口 各々の値	42	22	21	76	62	22	26	49	39	16	37	11
排水口A	17	11	10	62	14	17	14	10	15	20	22	10
排水口B	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15

16



騒音測定ポイント



17

騒音測定

2019年4月5日
測定結果: 問題無し



2019年度 敷地境界騒音測定結果

以下に注意し測定を行う

- 測定場所は境界線とし、年1回行うこと
- 測定時は以下特定施設の稼働による騒音に留意し計測する。可能な限り稼働の上、計測すること
コンプレッサー、空調ファン、圧金設備、クーリングタワー

承認	複製

測定箇所	2018.4.5		2019.4.4		2019.4.4		2019.4.4		測定結果
	測定値	規制値	測定値	規制値	測定値	規制値	測定値	規制値	
1.G棟西側付近	54.1	70	54.5	70	56.4	70	47.1	60	○
2.グラウンド北側付近	54.0	70	53.9	70	55.3	70	52.2	60	○
3.F棟東側北側付近	48.8	70	49.7	70	46.3	70	53.3	60	○
4.F棟東側付近(正門付近)	51.2	70	52.5	70	45.2	70	44.8	60	○
5.メール室前付近	50.8	70	52.3	70	49.3	70	37.6	60	○
6.G棟西側付近	54.3	70	57.8	70	54.2	70	42.1	60	○

<使用騒音計> 測定番号
メーカー シュニース
型式 CN-1LR 89U
管理番号 92542
記録簿
昭和44年4月30日 経産省告示第446号
神戸工場は第4種施設・工業地域



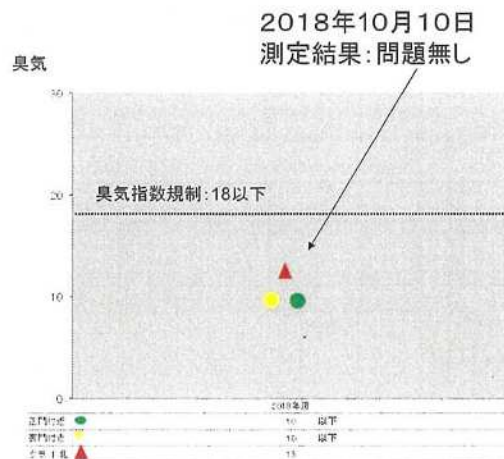
18



臭気測定ポイント



臭気測定値



※参考)G棟屋上排気ダクト測定(発生源測定)
東ダクト(16)
中央ダクト(25)
西ダクト(15)